



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

852 2023年1月22日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
2月6日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

子育て支援...

広がる「学校給食完全無償化」の流れ
23区でも葛飾、北、品川が実施予定

Table with 2 columns: 来年度実施, 葛飾、北、品川. Rows include: 前向きに検討中, 検討中, 実施予定なし.

(ニュース発行時点での状況、今後変更あり)



荒川区でも学校給食無償化の実現を！
予算の0.5%のやりくりで実施が可能です
全国の地方自治体で学校給食無償化の動きが広がっています。
2017年の文部科学省調査で全国1740市町村のうち、小中学校とも無償化実施は76市町村。...

コロナ、物価高騰が子どもの成長に影響...

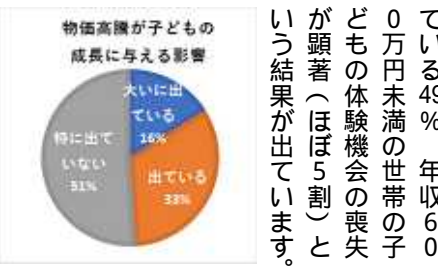


Table showing the impact of high prices on children's growth by income level. Columns: 世帯年収 (300万円未満, 300万円~600万円未満, 600万円以上). Rows: 子どもの「体験格差」, 物価高騰で学校外での体験機会が「減った」.

生活困窮の子育て世帯や子どもたちを支援する団体の調査で、物価上昇が子どもたちの成長に影響を与えている49%、年収60万円未満の世帯の子どもたちの体験機会の喪失が顕著(ほぼ5割)という結果が出ています。



れる社会に進むのではないでしょうが。
共産党区議団が10年間繰り返し提案・要求
日本共産党区議団は、この10年間繰り返し無償化を提案してきました。...

横山区議事務所のリニューアル完成...
生活相談などお気軽にお立ち寄りください

昨年来の事務所リニューアル工事も完了、1月8日に、リニューアルした事務所開きも行いました。
広さは変わりませんが、明るい事務所になり、生活相談や地域要求などの交流や懇談などで気軽に立ち寄っていただける「場」になるよう努力してまいります。
引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い致します。(横山幸次)



まちの話題あれこれ

町屋2丁目公園の拡張工事が始まっています
木造密集地域の公園や空地確保は重要です
町屋2丁目公園の一角にあった民有地を区が取得し、公園拡張工事がはじまりました(3/31まで)。



現在工事中の公園

町屋さくら復活を...

だれでも自由に移動できる荒川区へ... コミュニティバスなど移動手段に予算を

23区コミュニティバス事業の実施状況

実施の有無	路線	区運行補てん
千代田 (地域福祉交通)	4	有り
中央 実施	2	有り
港 実施	8	有り
新宿 WEバス 主に観光目的		初期費用
文京 実施	3	有り
台東 実施	5	有り
墨田 実施	3	有り
江東 実施	1	有り
品川 試験運行中(経費区負担)		
目黒 (要望を受け検討中)		
大田 実施	1	有り
世田谷 バス会社自主運行	10	無し
渋谷 実施	4	有り
中野 実証運行中(経費区負担)		
杉並 実施	3	有り
豊島 実施	1	有り
北 実施	2	有り
荒川 バス会社自主運行	2	無し
板橋 実施	1	有り
練馬 実施	6	有り
足立 バス会社自主運行	12	無し
葛飾 実施	1	有り
江戸川 試験運行中(経費区負担)		



運行コスト補助はほとんどの区が実施
「コミュニティバスの」運行コストに補助金は出さな...
荒川区の姿勢を改めさせ、町屋さくら復活と区内全域の交通不便地域の調査とその解消に必要な予算を求めがはります。

町屋さくら廃止から10か月...復活は切実な願い 「駅まで1時間」 「外出の機会減った」...悲痛な声
昨年3月末で廃止された町屋さくら。年間延べ約22万人の利用者は今どうしているのでしょうか。
利用していた方の実態調査を
この間、町屋さくらを利用されていたみなさんの話を聞きました。そこでは、「腰が悪く一番近い尾竹橋バス停まで行くのも大変」「町屋駅まで徒歩と乗り継ぎで1時間」「通院の回数が増えた」「出かける回数がめっきり減った」「町屋さくらを復活させて」など、切実な声が続々と聞かれました。
23区でも新規含め路線拡大に
23区では、高齢化社会の進行を見据えて、交通不便地域の解消などを課題に、新たなコミュニティバス路線の拡大が進んでいます。これまで未実施の中野、品川、江戸川も試験走行を開始、最後まで残った目黒区も検討を開始しています。
行政の最低限の仕事...廃止に伴う実態調査を今からでも実施すべきです。

「町屋さくら」利用者数(延べ人数)

	2019年度	2020年度	2021年度
乗車人数(全体)	219,143	111,789	102,843
障害者利用人数	21,558	12,853	11,128
シルバーバス利用(想定)	109,928	54,220	45,363

コロナ前延べ22万人、コロナ禍12万人区は、利用者の廃止後の声を聴くべき

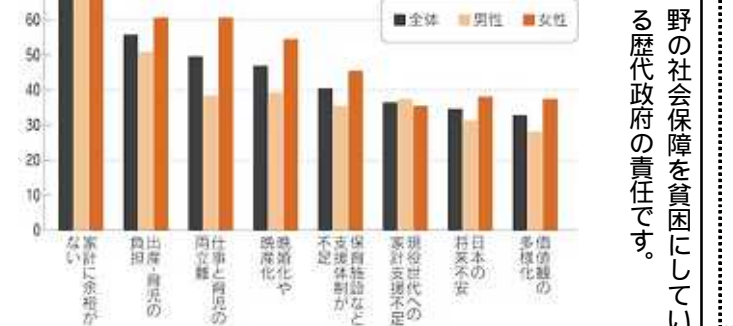
共産党都議団の調査、東京民報の記事をもとに作成。
2つの表は、日本

23区のコミュニティバスは路線拡大へ

	2011年	2022年	増減
実施区	13区	17区	4区増
路線数	34路線	50路線	16路線増
運転台数	120台	160台	40台増
運送距離	322km	400km	78km増
年間利用	740万4千人	750万1千人	9万7千人増

子どもを持つ壁「家計苦」7割... 軍拡でなく子育て・教育の充実を

自民党副総裁の麻生太郎氏が「少子化の最大の理由は晩婚化」で出産に「体力的な問題がある」と女性に問題があるかのように言っています。しかし子どもを持たない理由のトップは「子育て・教育にお金がかかるから」(内閣府2022年版「少子化社会対策白書」)。最近の日報新聞の少子化アンケート調査でも、子ども減少の理由のトップは、家計に余裕なし、次に出産育児負担などが続いています。



介護保険だけでは高齢者のくらしは守れません 荒川区独自の「高齢者福祉」の充実を求めます

介護保険制度では、「通院時の院内介助はダメ」「同居家族がいるとヘルパー利用が制限」「庭の草取り、窓拭きはヘルパーは出来ない」「同居の高齢者の食事の準備や洗濯はできない」などのくらしの実態を無視した制限がずらり並んでいます。図書館やコンサート、映画、社会参加の機会など、外出介助は自費か家族や友人に頼むしかありません。また緊急に介助が必要でも、介護保険の申請が必要です。すぐに結果は出ません。人としての尊厳を保つため、自治体で独自サー...

東部在宅高齢者通所サービスセンター(老人福祉センター内)では、利用者の在宅生活継続のため本人だけでなく家族も含め独自支援を実施。現在は通所利用者の15~20名程度が利用、郵便物チェック・公共料金支払・夕食(お弁当)届けなど職員が通常業務の合間でお手伝いしています。介護保険でできない「お困りごと」サービスとして注目です。

切実な補聴器助成の拡充
地域を回っていると「町屋さくら復活」とともに「補聴器が必要だが高い」といった声。区の助成制度は、1人2万5千円上限。両耳必要な人もいます。実態に合った金額への助成額の引き上げ(少なくとも5万円以上)が必要です

野の社会保障を貧困にしている歴代政府の責任です。